

一般質問

各会派の略称は次のとおりです。

- (日本共産党) 日本共産党小金井市議団
 - (公明党) 小金井市議公会公明党
 - (改革連合) 改革連合
 - (改革21) 改革21
 - (生活者ネット) 小金井・生活者ネットワーク
 - (自民党小金井) 自由民主党小金井市議団
 - (市民の党) 市民の党
 - (市民自治) 市民自治こがねい
 - (湧湧環境ク) 湧く湧く環境クラブ
 - (市民ウエブ) 市民ウエブ
 - (民主党) 民主党小金井市議団
 - (民主市民) 民主市民
- 原稿は市長部局の答弁等も含めて各議員が作成しております。

小中学校の地震対策を問う



露口哲治(自民党小金井)

東海沖地震など大規模な地震が発生することは十分予測される。(ア)小金井市では、児童・生徒が学校に在る間に大地震が発生した場合の安全対策は十分か。(イ)学校施設の耐震化に関しては、建築基準法の基準が強化された昭和57年以降の新耐震建物と耐震工事に

必要な昭和56年以前の建物に分かれる。総床面積に占める新耐震建物と耐震工事済みの床面積の割合(耐震化率)は。(ウ)16年度暫定予算になつたが耐震化率への影響はどうか。

教育長 (ア)毎月一回の避難訓練を実施し、小学校では年に一回、保護者による児童の

引取り訓練を実施している。(イ)市内14小中学校の校舎、体育館の耐震化率は42・6%。(ウ)補助金を断念せざるを得ない状況となつた。仮に16年度に耐震補強工事が実施できた場合の耐震化率は52・4%。残念ながら施設整備事業計画どおり実施した場合と比べ9・8%ダウンした現況である。16年度、市議会の判断が及ぼした影響は甚大である。小中学校の耐震補強工事のみならず、保育園についても積極的な地震対策を要望した。

中町前原の坂下地域にココバスの早期運行を



関根優司(日本共産党)

(ア)ココバス南側路線が新たに3ルート開通するが坂下地域がはずされた。「坂をおりなければ意味がない」という厳しいご意見も伺っている。当初から市も交通不便地域に坂下地域を指定していたが、一番交通不便な地域が残ってしまった。

坂下の地域はバスを小型化して当初考えられていたルートをいかに、中村美術館や野川や武蔵野自然公園を生かしたルートにすべきと思うがどうか。(イ)平成22年には20%になる小金井の高齢化社会に対応するために、武蔵野市のレモンキャブや福島県小高町のeーまちタクシーのような乗

り合いタクシーを検討しないか。

市長 (ア)ココバス運行を期待されていた方々には申し訳ない。先の総務企画委員会の陳情でも早急に走らせてほしいという陳情が採択されており、今後の課題として早急に対応していきたいと思つている。(イ)福祉を中心にするのか、それとも交通不便地域の解消なのか、いろいろな方策があるのかと思つたが、今後の検討課題としたい。



3月20日南側地域ココバス運行開始

玉川上水風致地区に絶対高さ制限の導入を



青木ひかる(市民の党)

12月市議会に「玉川上水風致地区内の建築規制の見直し等を求める陳情書」が提出され、全会一致で採択になつた。これを受けて市の取組はどうなっているのか。

都市建設部長 ある一定の建築物は幹線道路の沿線上には必要なものと考えている。

この地区に10mの絶対高さ制限の導入を求めたい。三多摩では三鷹市、青梅市、町田市、清瀬市が導入している。この制限を設ければ、容積率にかかわらず建物の高さを規制できる。

都市建設部長 幹線道路である新小金井街道と小金井街道沿線は、緊急避難路としての

の役割があり、延焼遮断帯と呼ばれる。こういう形の中で、ある一定程度の建物の高さは必要なのではないかと思つた。

市内全域に絶対高さ制限をかけることを提案するがどうか。

都市建設部長 市としてはどの程度の高さ制限を適用するのが妥当なのか、専門家のご意見をいただくなど時間をかけて調査をして一定の方針を決めたい。

武蔵小金井駅南口再開発事業の推進に向けて



五十嵐京子(改革連合)

1月12日国土交通省は事業を認可し、都市再生機構が正式な施行者となつた。(ア)事業認可後の小金井市の役割は。(イ)事業認可の際、完成予定が平成19年度となつているが、昨年の半年間の暫定予算が完成時期に与える影響は。平成20年は小金井市施行50周年を

迎える。式典の予定などもあふと思うので、間に合うように完成可能か。(ウ)中央線関連街づくり検討委員会や修景アソシエイトなどで寄せられた市民の声をどう生かすか。(エ)25階の展望を市民が共有することについて難しいのは、設計変更の問題か、それとも財政的な問題なのか。

街づくり担当部長 (ア)国や都の補助金を確保し、行政としてきちんと分担金を支出していくこと。さらに地権者との調整、関係機関との調整など。(ウ)平成17年度に市民参加による修景実施計画を策定する。(エ)財政的に誰が取得するかということ、さらに防災・防犯上の問題があり、景観の共有化は全体の駅周辺整備の中で考えていきたい。

市長 (イ)平成19年度完成がかなり厳しい状況と受けとめている。

子育て支援の充実に向けて



板倉真也(日本共産党)

(ア)小金井市次世代育成支援に関するニーズ調査を実施した理由と、調査結果の活用についての考えを問う。(イ)認可保育園の新設・増設に向けてどのような努力をしてきたのか。(ウ)次世代育成支援のアンケート結果を受けて、市民の要求にどう応えようとしてい

るのか。(エ)「のびゆくこどもプラン」で明記した市民に対する約束を実行せよ。

福祉保健部長 (ア)次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画と、その基礎資料のために調査を実施した。今後、子ども施策に対して総合的な見直しを行っていく。(イ)保育園の定員変更により、平成

13年度から5年間で延べ42人の増員を図っている。しかし待機児をゼロにする根本的な対策としては、保育園を1園つくる必要があると認識している。(ウ)「のびゆくこどもプラン」の中で子ども施策の総合的な見直しを行っており、ニーズ等の高いものについては前倒しする計画にしていきたい。(エ)小規模保育園、駅型保育園等については、積極的推進の方向で検討する。

その他に、「特別養護老人ホームの建設」を求めました。

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、市長や行政機関などに対し、質問することができます。市が行う事務の状況及び将来に対する方針などについての質問をし、報告や説明を求めることをいいます。



質問コーナー

問 一般質問はいつ行われるの？

答 3月、6月、9月、12月の年4回の定例会で行います。

問 傍聴はできるの？

答 だれでも傍聴できますので、議会事務局で傍聴の手続きをしてください。